

専徳寺報

第434号

平成29年9月15日発行

浄土真宗本願寺派
専徳寺

専徳寺納骨堂受付中

〒740-0044 岩国市通津2764
☎0827-38-1124 FAX38-1000

<http://sentokuji-iwakuni.net/>

専徳寺

検索

秋讃仏会あきさんぶつえ（彼岸会）ほうよう法要

併修 戦没者追悼法要

御案内

秋のお彼岸をご縁に讃仏会法要をつとめます。にぎにぎしくご参詣ください。

日時

9月29日(金)
30日(土)

昼	1時30分～3時30分
夜	19時30分～21時
昼 (ご満座)	1時30分～3時30分

ご講師 本願寺輔教 成 照星 師 (太宰府市)

●法座奉仕：通津南地区

●戦没者追悼法要 29日昼座

戦没者を追悼し、ご遺族の焼香があります。

●参拝セット (念珠・聖典・式章・聴聞カード) どうぞお持ちください。

秋の展示会

ご門徒の方の作品を展示いたします。

●作品募集ー秋の展示会

今年も絵画・手芸品・工芸品等、皆様の作品を募集いたします。できれば法要前々日(27日)までにお持ちください。難しければ法要当日でも構いません。11月の永代経法要まで展示させていただきます。



【第18回 岩国組少年少女のつどい】(9月3日)

岩国組全体の子ども会が、13年ぶりに「専徳寺」を会場に行われました。「テーマ」は「こえん」。「参加者」は80名でした。「らいはいのうたの」のおつとめや仏教讃歌の練習をしたり、またテーマにちなんで「縁日ゲーム」を楽しみました。



スーパーボールすくい



輪投げ



射的



昼食は本堂北側で「流しそーめん」を楽しみました。

如来・人・言葉 106

支えあつて生きる



内藤 知康

仏教の大事な言葉の一つとして、「縁起」という言葉があります。よく「縁起がよい」とか、「縁起がわるい」とかいわれますが、これは縁起という言葉のそもそもの使い方ではありません。

縁起という言葉は、仏教の最も根本的な考え方をあらわすものです。その考え方というのは、全てのもは支えあつて生きていくという考え方です。「支えあつて生きて

ゆきましょう」ではなく、「支えあつて生きている」です。つまり、縁起という言葉は、「支えあつて生きていきましょう」という目標を教える言葉ではなく、「支えあつて生きているのですよ」という事実を教える言葉なのです。

例をあげてみましょう。私たち動物は、酸素を使って炭酸ガスにしています。植物は逆に炭酸ガスを酸素にしてくれています。動物だけですと、地球の空気から酸素がなくなってしまう。このように、動物と植物とが互いに支えあつて生きているということが縁起の一例です。そして、このようありのままの事実を正しく知ることを教えるのが、仏教なのです。

(内藤知康『増補版 やわらかな眼』より)

寺内だより

み仏にいだかれて「葬儀勤修」

8月9日御往生

郷 白田 敬子様 (67)
喪主 白田 憲光様

9月11日御往生

今津町 白木 幸子様 (86)
喪主 白木 厚栄様

●ご恩を偲びつつ (法事勤修) (8月9日~9月10日)

【通津】井原義之7、朝本弘子17、時藤伸恵25、藤重雅也3、村重親男25、松本文江13、

ついたち礼拝(月のはじめをお寺から)

10月1日(土)、11月1日(水)

午前9時より45分間。

おめでとうございます (仏壇入仏)

8月12日 御三尊 佐伯区 末広 崇志様

8月27日 御三尊 安佐南区 岸村 司様

8月29日 御三尊 通津 竹原登代子様

お給仕の慶び一人に存じます。

第三駐車場

連絡が遅くなりましたが、今年の一、境内の南側の土地を購入しました。入り口は狭いですが、軽自動車など、五台以上駐車できます。



小門(裏口)の右側にあります。

●歡喜会法要余香 (8月30日・31日)

【講師】北嶋文雄師

【お鉢米】山根優

【参詣数】(30日) 昼座114名、夜座33名、

(31日) 昼座73名

4年ぶりにご法縁を賜りました。仏婦役員様、法要総代様有り難うございました。

また保津地区のお世話人様、駐車整備から片付けまで、本当に助かりました。